

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	あじさい	公表日	R8年 1月 20日				利用児童数	27人	回収数	21人
チェック項目										
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	はい 14	どちらともいえない 4	いいえ 0	わからない 2	・狭いスペースをとても工夫しようとしている感じています。ありがとうございます。 ・皆が集まる広い部屋に、夕方帰る準備をしている時は、狭そうに感じました。人が集まるところですが…。	限られたスペースを工夫しながら、子ども達が安心して過ごせるスペースの確保に努めます。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	はい 16	どちらともいえない 2	いいえ 0	わからない 3				
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	はい 17	どちらともいえない 3	いいえ 0	わからない 1				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	はい 19	どちらともいえない 1	いいえ 0	わからない 1				
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	はい 21	どちらともいえない 0	いいえ 0	わからない 0				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	はい 21	どちらともいえない 0	いいえ 0	わからない 0				
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	はい 21	どちらともいえない 0	いいえ 0	わからない 0	・いつも細やかな支援をしていただきニーズにも応じていただいてありがとうございます。			
	8	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているだと思いますか。	はい 21	どちらともいえない 0	いいえ 0	わからない 0				
	9	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	はい 21	どちらともいえない 0	いいえ 0	わからない 0				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	はい 20	どちらともいえない 0	いいえ 0	わからない 1				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	はい 8	どちらともいえない 3	いいえ 1	わからない 9	・同じ系列の放デイとの合同イベントが多い。			
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	はい 19	どちらともいえない 2	いいえ 0	わからない 0				
	13	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	はい 21	どちらともいえない 0	いいえ 0	わからない 0				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	はい 15	どちらともいえない 3	いいえ 0	わからない 3	・研修はあまりないよう思うが、今必要としていないのでOK。			
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	はい 20	どちらともいえない 1	いいえ 0	わからない 0				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	はい 21	どちらともいえない 0	いいえ 0	わからない 0	・いつも相談にのっていただきありがとうございます。			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	はい 21	どちらともいえない 0	いいえ 0	わからない 0				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	はい 8	どちらともいえない 5	いいえ 3	わからない 4	・きょうだい同士の交流はないのでは。			

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	0	0	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19	1	1	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	1	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	2	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	1	0	5		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	0	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	0	0	1		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	20	1	0	0	・とても安心して且つ信頼して通っています。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	21	0	0	0	・楽しみにしています。今年度で終了なのは寂しいですが、それも受け入れて最後楽しんでいます。 ・仲の良い友達もできて、いろいろな経験もさせてもらいたい喜んでいます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	1	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		あじさい				公表日	R8年 1月 20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	・人数に対してのスペースが狭い。 ・限られた空間を用途やパーテーションで空間を仕切って個別のスペースを確保。	・申請基準は満たしているので、療育内容や、スペースの確保などを工夫しながら取り組んでいく。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	・日にもよるが1対1になると職員が1人少なく送迎などバタバタする時もある。 ・職員に欠員が出ると難しい状況になってしまふ。基本配置は基準を満たしている。	・職員配置については、基準以上の配置しているので、職員側のスキルを上げることで解決できるようにしていく。		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・バリアフリーになっている点、子どもにわかりやすく情報伝達されている。 ・トイレは難しいが、それ以外はバリアフリー。			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・室内は清潔で毎日清掃・換気など気を付けて心地よく過ごせるようにしている。 ・施設の清掃は徹底している。			
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・数は少ないが、その場合で個別の部屋空間が使用できるようになっている。 ・パーテーションを増設したことでの個別のスペースを確保。			
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		・必ず月1回は全員で会議をして、目標設定、振り返りを話して意見を発言しあっている。 ・普段から情報共有を行っている。			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・毎年アンケートを実施。日々の業務後や職員会議で情報を共有。			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・月1回の会議の中で発言したり、日常の中でも意見を発言出来ていると思う。 日々の業務内でのコミュニケーションを大切にしている。職員会議で検討し、必要であれば改変している。			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		・外部評価は受けていない。	今後、取り入れていくことも考えていく。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・毎月のジョブメドレーアカデミーでは全員が受けしており、その他も研修を受講している。 ・月1回研修を受講し、レポートを提出。			
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・ホームページに公表済み。			
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか。	5		・学校の先生や保護者等の意見も参考にして、課題を客観的に分析し、作成している。 ・本人の良いを中心個別支援会議を経て作成している。			
	13 児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・月に1回の会議で、職員全員が共通理解し、子ども達の最善の利益を考慮し、検討されている。 ・事前会議や個別支援会議で全職員で検討している。			
	14 児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・月1回の会議で必ず職員全員が出席し、共有され、計画に沿った支援がされている。 ・全職員に周知している。			
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・フォーマルではないが、課題の整理を行っている。	今後、フォーマルなツールを使ったアセスメントも視野に入れて考えていく。		
	16 児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)には、児童発達支援(放課後等デイサービス)ガイドラインの「児童発達支援(放課後等デイサービス)の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・本人の意向や、保護者のニーズを踏まえて、将来必要なスキルの習得を目指して支援内容を設定。			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・日々の打ち合わせで最終確認。			

の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・毎月違う内容を立案している。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	5		・子どもが力を発揮できるように環境設定している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		・朝礼で必ず具体的に行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・ケース記録で具体的かつ時系列が分かるよう記録している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・ケース記録で具体的かつ時系列が分かるよう記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・半年に1回必ず実施。	
	24	<u>【放ディのみ】</u> 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5		・日常生活に結びつく支援、様々な余暇体験、地域活動への参加、子ども同士でのルール作りなどを取り入れている。	
	25	<u>【放ディのみ】</u> 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		・おやつの種類決め、モニタリングの際の面談など様々な場面で自己選択を大切にしている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		・児発管が担当し、情報を共有。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・保育所等訪問支援を実施している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4		・必要に応じて助言を受ける関係作りを行っている。	
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5		・法人内のこども園や地域活動支援センター、放ディと交流している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・毎月状況報告書を作成し、報告している。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		・保護者研修会を実施している。	
	32	<u>【児発事業所・児発センターのみ】</u> 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	33	<u>【児発事業所・児発センターのみ】</u> 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	34	<u>【児発センターのみ】</u> 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	<u>【児発センターのみ】</u> 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	36	<u>【児発センターのみ】</u> （自立支援）協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	37	<u>【放ディのみ】</u> 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		・ラクメの利用や日々の送迎時に情報共有を行っている。	

	38	【放ディのみ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		・相談支援事業所を通して情報を共有。	
	39	【放ディのみ】学校を卒業し、放課後等ディサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		・過去2件実施、今年度も2件実施予定。	
	40	【放ディのみ】（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		・積極的に参加している。	
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		・契約時に必ず行っている。問い合わせには適宜対応。	
	42	児童発達支援計画（放課後等ディサービス計画）を作成する際に、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		・半年に一度モニタリングを実施。	
	43	「児童発達支援計画（放課後等ディサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		・同意が得られない場合は同意を得られる内容に修正。	
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		・日々対応している。	
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		・保護者研修会を実施。	保護者会の開催や交流できる場を設けていくことも考えていく。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		・担当者が必要に応じて対応。	
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に對して発信しているか。	4		・毎月状況報告書を作成。ライン等を通して様子を伝えている。	
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・鍵付きの書庫で厳重に保管、書類の破棄も慎重に行っている。守秘義務の順守。	
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		・絵カードや筆談の利用。理解しやすい言葉を用いて説明支援。	
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		・毎年福祉フェスタに出演。作品制作に協力。	
非常時等の対応	51	【放ディのみ】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		・電話やライン、連絡帳など保護者の方が利用しやすいツールで実施。	
	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		・策定実施している。	
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・実施している。	
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・てんかん薬の管理を事業所で行っている。	
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		・保護者からの情報をもとに対応。	
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		・策定実施している。	
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		・契約時に説明。	

58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・報告書を作成し、再発防止に努めている。	
59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・研修を実施。	
60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		・記載はないが、事前に同意を得ている。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あじさい			
○保護者評価実施期間	R7年10月25日 ~ R7年11月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数)	21名
○従業者評価実施期間	R7年11月1日 ~ R7年11月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年12月25日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者と定期的に面談をし、ニーズや課題を共有した上で個別支援計画の作成を行っている。	6ヶ月に1回は必ず面談を行えるように、表にして管理をしている。前月の20日に文章で面談の予定を確認し、調整している。	日頃からの保護者との信頼関係を構築することで、話しやすい状況を作れるようにしていく。
2	学校休業日や長期休暇の余暇支援の充実	多くの経験を積めるように、内容が重ならないように配慮している。また、子ども達が楽しく参加できることを基本としながら、自分で考えたり、挑戦したり出来るようにしている。	子ども達の興味や関心を取り入れられるようにしていく。
3	1ヶ月の活動内容等を文書で全保護者に提出している。 ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	「状況報告書」として、毎月月初めに前月の様子を文章にまとめている。日頃の成長の様子が保護者へ伝わるように作成している。	各保護者が知りたいことを伝えられるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	全員が集合する場所のスペースが狭い。	賃貸で限られたスペースでの活動になっている。 個別のスペースの確保のために、全員での活動の場所が狭くなっている。	療育内容の工夫をしすることで、スペースの問題を解決できるようにしていく。 職員の支援スキルを上げることで、狭いスペースの中での満足感を得られるようにしていく。
2	保護者に対しての研修会や保護者会、兄妹時の交流などの催しが少ない。	保護者会がないので、職員主体での実施になってしまっており、回数的にも限られてしまう。	保護者に向けた情報を発信しながら、必要な内容の研修会の実施を取り入れていく。 保護者会等を作ることを前向きに検討しながら考えていく。
3	緊急時対応マニュアルや感染症対応マニュアル等のマニュアル類は作成や非常時の訓練等の実施などを行っているが、保護者への周知が足りないので理解されていないことがある。	マニュアル類や訓練の実施などが保護者への周知が足りないの で、実施しているか不明なところがある。	非常時の対応について、保護者との共有を行っていく。